

監事監査意見書

平成 29 年 5 月 17 日

社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会
理事長 松井 美弥子 殿

監査所見

1. 財産状況について

指摘事項なし

2. 事業運営に関して

28 年度大きな課題であった送迎バス事業の収支改善については、燃料費の徴収も認められたほか、長期間赤字運営であった喫茶 CoCoro の閉店など、赤字減少のために様々な努力に取り組んではいるが、スプリンクラー設置などグループホーム新設等取り組むべき課題も多く、法人運営はまだまだ厳しい状況である。

今後も経費節減をはじめ、法人全体で危機感を持って現在の財政状況を理解し、少しでも改善できるよう、引き続き努力して下さい。

- (1) 市の委託事業については委託費内で運営できる努力することに合わせて、不足する費用については委託費増額を市に要望する等をお願いしたい。
- (2) 作業種については、鋭意努力を重ねておられますが、今後も十分な検証等を重ね、利用者本位の目線で見直し、改善下さい。
- (3) 職員体制の安心、安定が図られるよう、早急に職員確保に努めて下さい。
- (4) 28 年度事業計画にもあった利用者の高齢化の問題や、各事業所の役割の明確化等について、今後も継続して取り組んで下さい。

以上

以上、平成 28 年度の社会福祉法人宝塚さざんか福祉会の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書については、関連する法令及び通知に従った監査の結果適正と認められます。

監事 阿田 安正



監事 大野 セツ子

